

 **日本調剤株式会社**

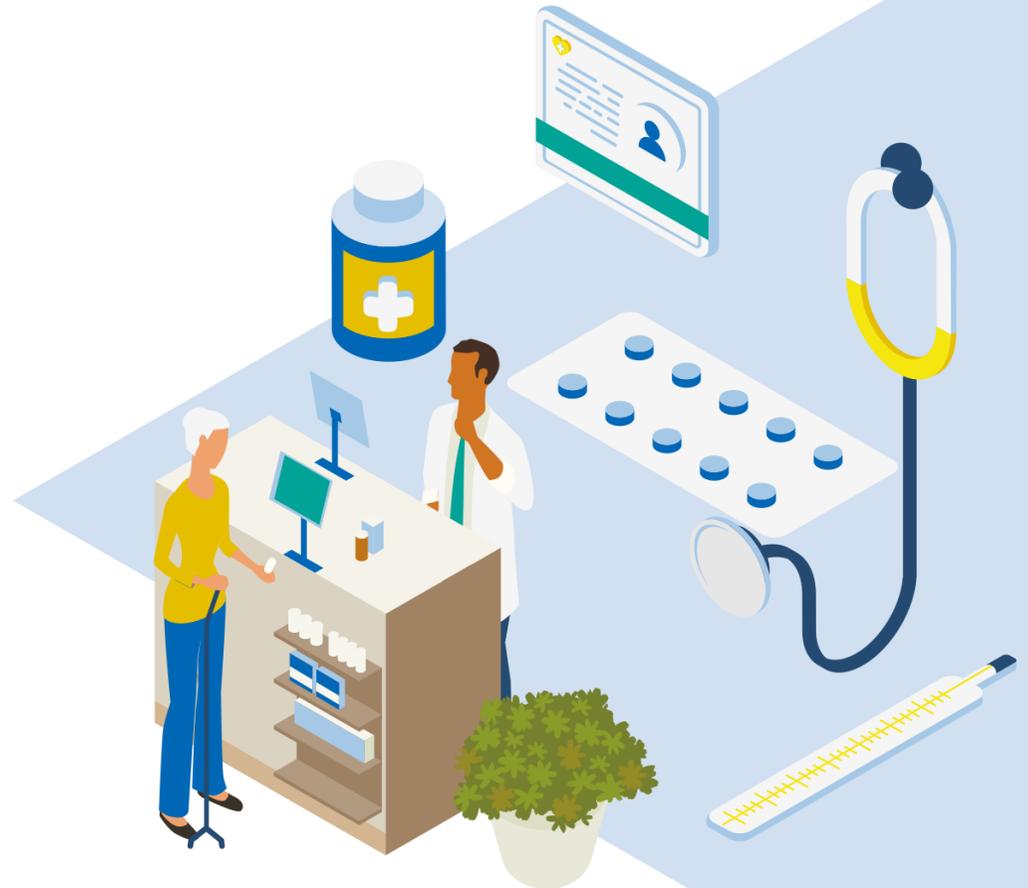
(東証プライム/証券コード 3341)

# 2023年3月期 第3四半期 決算説明資料

2023年1月31日



# 1 決算 ハイライト



## 連結業績

医薬品製造販売事業において限定出荷の影響を受けたものの、好調な調剤薬局事業の寄与により売上高は増収、営業利益は前年同期と同水準を維持。

## 調剤薬局事業

2022年4月の診療報酬改定及び薬価改定の影響を受ける一方、前期及び今期の出店効果と既存店の堅調な処方箋枚数の伸びにより増収増益

## 医薬品製造販売事業

新規薬価収載品の販売が好調であったものの、2022年4月の薬価改定の影響及び2021年の西日本物流センターの火災等に起因する限定出荷の影響長期化等により減収減益

## 医療従事者派遣・紹介事業

新型コロナウイルス感染症の影響は引き続き残るも、主力である薬剤師の派遣・紹介事業及び医師事業が前年同期を上回ったことにより増収増益

# 連結 損益計算書

好調な調剤薬局事業の寄与により売上高は前年同期比4.2%増加したものの、医薬品製造販売事業における限定出荷等の影響により予想比では2.4%減となった。営業利益は、コスト抑制施策等の寄与により前年同期と同水準、予想比2.3%増となった。

(単位：百万円)	21/3 3Q実績	22/3 3Q実績	23/3 3Q予想	23/3 3Q実績	予想比 増減額	予想比 増減率	前年同期比 増減率
売上高	208,337	223,439	238,500	<b>232,844</b>	△5,652	△2.4%	4.2%
売上原価	171,658	183,714	196,800	<b>192,233</b>	△4,563	△2.3%	4.6%
売上総利益	36,679	39,724	41,700	<b>40,610</b>	△1,089	△2.6%	2.2%
対売上比	17.6%	17.8%	17.5%	<b>17.4%</b>	△0.0pt	-	-
販売管理費	30,911	33,897	36,000	<b>34,780</b>	△1,219	△3.4%	2.6%
対売上比	14.8%	15.2%	15.1%	<b>14.9%</b>	△0.2pt	-	-
消費税等	13,665	14,913	15,800	<b>15,460</b>	△339	△2.1%	3.7%
研究開発費	2,039	2,475	2,300	<b>2,303</b>	3	0.1%	△7.0%
営業利益	5,767	5,827	5,700	<b>5,829</b>	129	2.3%	0.0%
対売上比	2.8%	2.6%	2.4%	<b>2.5%</b>	0.1pt	-	-
経常利益	5,773	6,058	5,600	<b>5,836</b>	236	4.2%	△3.7%
対売上比	2.8%	2.7%	2.3%	<b>2.5%</b>	0.2pt	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	3,410	1,096	3,100	<b>4,289</b>	1,189	38.4%	291.2%
対売上比	1.6%	0.5%	1.3%	<b>1.8%</b>	0.5pt	-	-
EBITDA	11,765	12,006	12,400	<b>12,277</b>	△122	△1.0%	2.3%

# 連結 貸借対照表

資産の主な増減要因は、商品及び製品の増加約121億円。負債の主な増減要因は、短期借入金の増加37億円及び長期借入金の増加20億円。自己資本比率は30%と2007年3月期以降で最も高い水準。

(単位：百万円)	21/3 期末	22/3 期末	23/3 3Q末	前期末比 増減額	前期末比 増減率
流動資産	89,246	81,651	<b>89,444</b>	7,793	9.5%
商品及び製品	23,139	23,024	<b>35,157</b>	12,132	52.7%
固定資産	97,015	97,102	<b>98,175</b>	1,072	1.1%
有形固定資産	64,785	64,025	<b>62,574</b>	△1,450	△2.3%
無形固定資産	18,952	18,969	<b>20,229</b>	1,259	6.6%
投資その他	13,277	14,107	<b>15,371</b>	1,263	9.0%
資産合計	186,262	178,753	<b>187,619</b>	8,866	5.0%
流動負債	87,720	78,931	<b>79,642</b>	710	0.9%
買掛金	44,044	48,513	<b>51,023</b>	2,510	5.2%
短期借入金	—	1,000	<b>4,750</b>	3,750	375.0%
1年以内返済予定の長期借入金	27,966	12,366	<b>10,600</b>	△1,765	△14.3%
固定負債	48,673	46,944	<b>51,650</b>	4,705	10.0%
長期借入金	42,997	41,531	<b>45,301</b>	3,770	9.1%
負債合計	136,394	125,876	<b>131,292</b>	5,415	4.3%
純資産合計	49,868	52,876	<b>56,327</b>	3,450	6.5%
自己資本	49,868	52,876	<b>56,327</b>	3,450	6.5%
自己資本比率	26.8%	29.6%	<b>30.0%</b>	0.4pt	—
ネット有利子負債	40,325	31,054	<b>41,578</b>	10,523	33.9%

# 調剤薬局事業

既存店の処方箋枚数が増加したことに加え、前期に出店した40店舗及び今期に出店した31店舗が寄与したこと等により、売上高は前年同期比5.4%増、営業利益は前年同期比16.4%増、業績予想比では12.8%増となった。

(単位：百万円)	21/3 3Q実績	22/3 3Q実績	23/3 3Q予想	23/3 3Q実績	予想比 増減額	予想比 増減率	前年同期比 増減率
売上高	181,125	197,389	209,300	<b>208,076</b>	△1,223	△0.6%	5.4%
売上原価	153,347	165,775	177,100	<b>174,425</b>	△2,674	△1.5%	5.2%
売上総利益	27,777	31,613	32,200	<b>33,650</b>	1,450	4.5%	6.4%
対売上比	15.3%	16.0%	15.4%	<b>16.2%</b>	0.8pt	—	—
販売管理費	20,786	22,504	22,800	<b>23,048</b>	248	1.1%	2.4%
対売上比	11.5%	11.4%	10.9%	<b>11.1%</b>	0.2pt	—	—
営業利益	6,991	9,108	9,400	<b>10,601</b>	1,201	12.8%	16.4%
対売上比	3.9%	4.6%	4.5%	<b>5.1%</b>	0.6pt	—	—
期末店舗数	670	690	720	<b>716</b>	△4	△0.6%	3.8%
1店舗あたり売上高	274	290	295	<b>294</b>	△0	△0.3%	1.5%

・単位未満切り捨て

・1店舗あたり売上高：調剤セグメント売上高/期中平均店舗数

# 医薬品製造販売事業

2019年度以降の新規薬価収載品の販売が好調だったものの、2022年4月の薬価改定による影響、2021年の西日本物流センターの火災等に起因する限定出荷の影響長期化等により、売上高は前年同期比16.9%減、営業損益は4.5億円の損失となった。

(単位：百万円)	21/3 3Q実績	22/3 3Q実績	23/3 3Q予想	23/3 3Q実績	予想比 増減額	予想比 増減率	前年同期比 増減率
売上高	35,235	35,274	36,800	29,316	△7,483	△20.3%	△16.9%
売上原価	29,668	30,376	30,800	25,855	△4,944	△16.1%	△14.9%
売上総利益	5,566	4,897	6,000	3,460	△2,539	△42.3%	△29.3%
対売上比	15.8%	13.9%	16.3%	11.8%	△4.5pt	—	—
販売管理費	3,360	3,602	4,100	3,917	△182	△4.5%	8.7%
対売上比	9.5%	10.2%	11.1%	13.4%	2.2pt	—	—
営業利益	2,205	1,294	1,900	△456	△2,356	—	—
対売上比	6.3%	3.7%	5.2%	—	—	—	—

・単位未満切り捨て

# 医療従事者派遣・紹介事業

新型コロナワクチン接種関連業務の需要が前年同期比較で減少に転じるも、主力の薬剤師紹介・派遣の実績が拡大したことにより、売上高は前年同期比13.5%増、営業利益は前年同期比42.1%増、業績予想比では100.8%増となった。

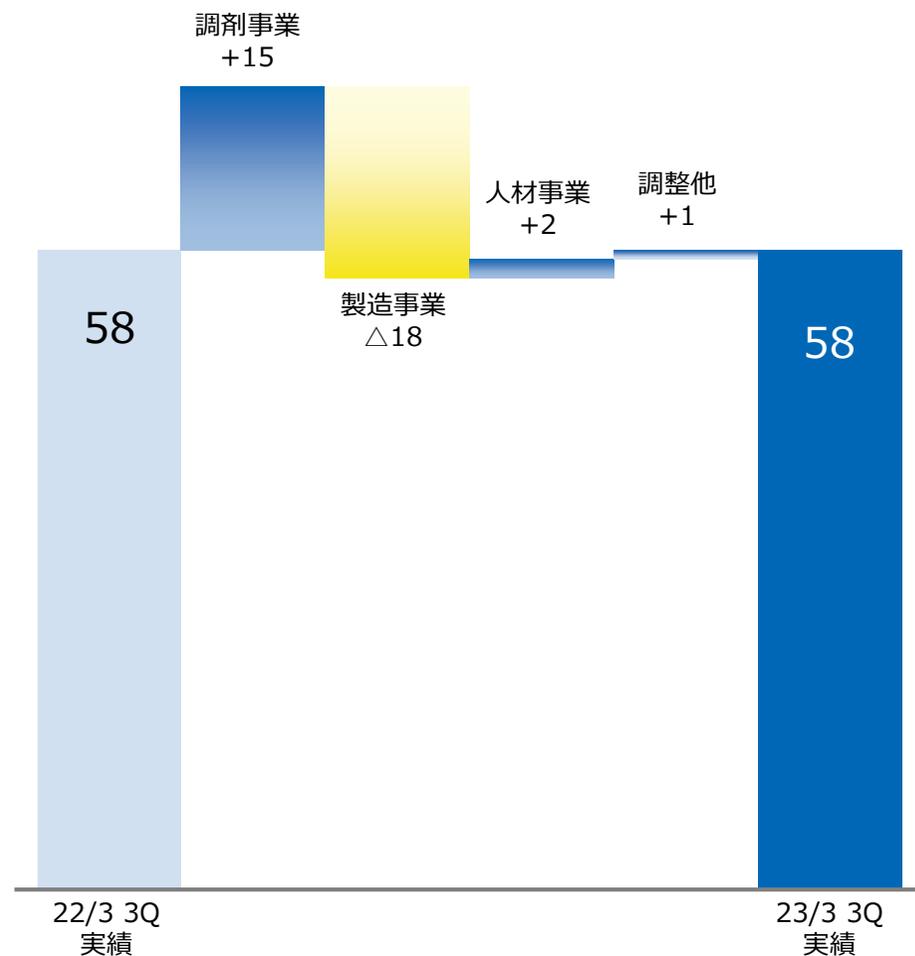
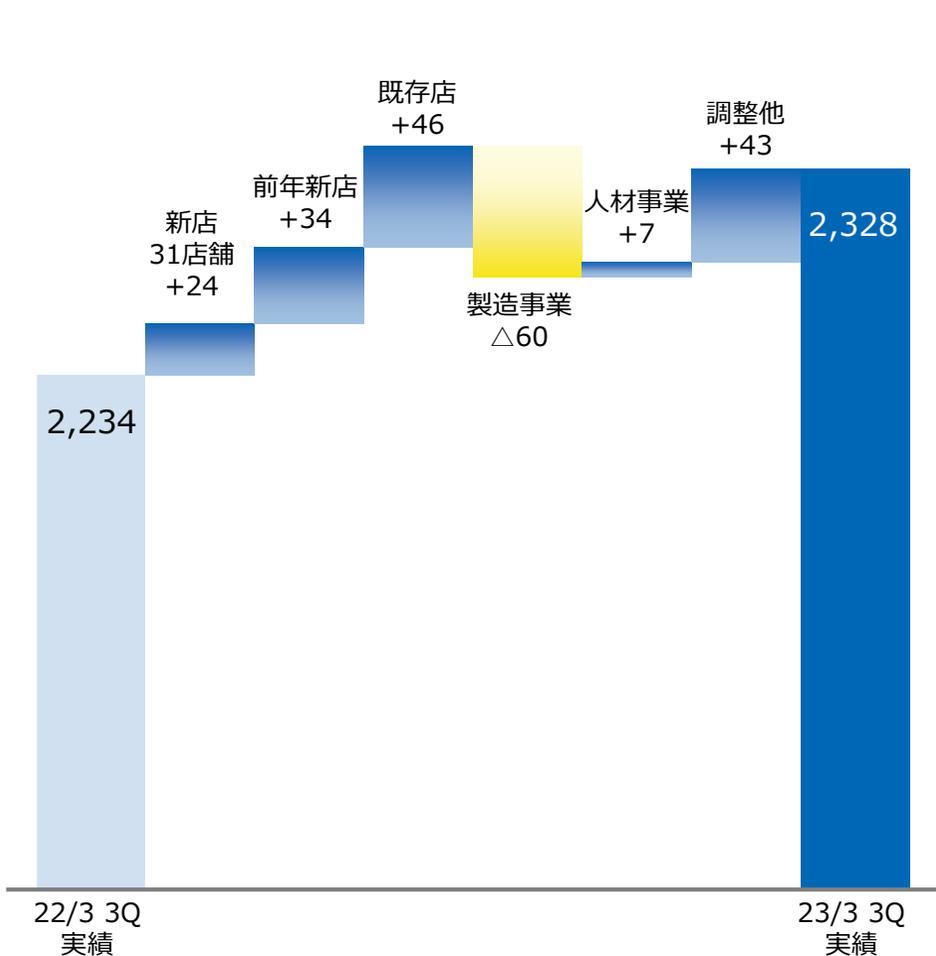
(単位：百万円)	21/3 3Q実績	22/3 3Q実績	23/3 3Q予想	23/3 3Q実績	予想比 増減額	予想比 増減率	前年同期比 増減率
売上高	6,644	5,207	5,200	5,909	709	13.7%	13.5%
売上原価	3,187	1,912	1,800	2,331	531	29.5%	21.9%
売上総利益	3,456	3,295	3,400	3,578	178	5.2%	8.6%
対売上比	52.0%	63.3%	65.4%	60.5%	△4.8pt	—	—
販売管理費	2,803	2,871	3,100	2,975	△124	△4.0%	3.6%
対売上比	42.2%	55.1%	59.6%	50.4%	△9.3pt	—	—
営業利益	653	423	300	602	302	100.8%	42.1%
対売上比	9.8%	8.1%	5.8%	10.2%	4.4pt	—	—

・単位未満切り捨て

# 〔参考資料〕 連結 前年同期比増減要因

■ 売上高 (単位：億円、単位未満四捨五入)

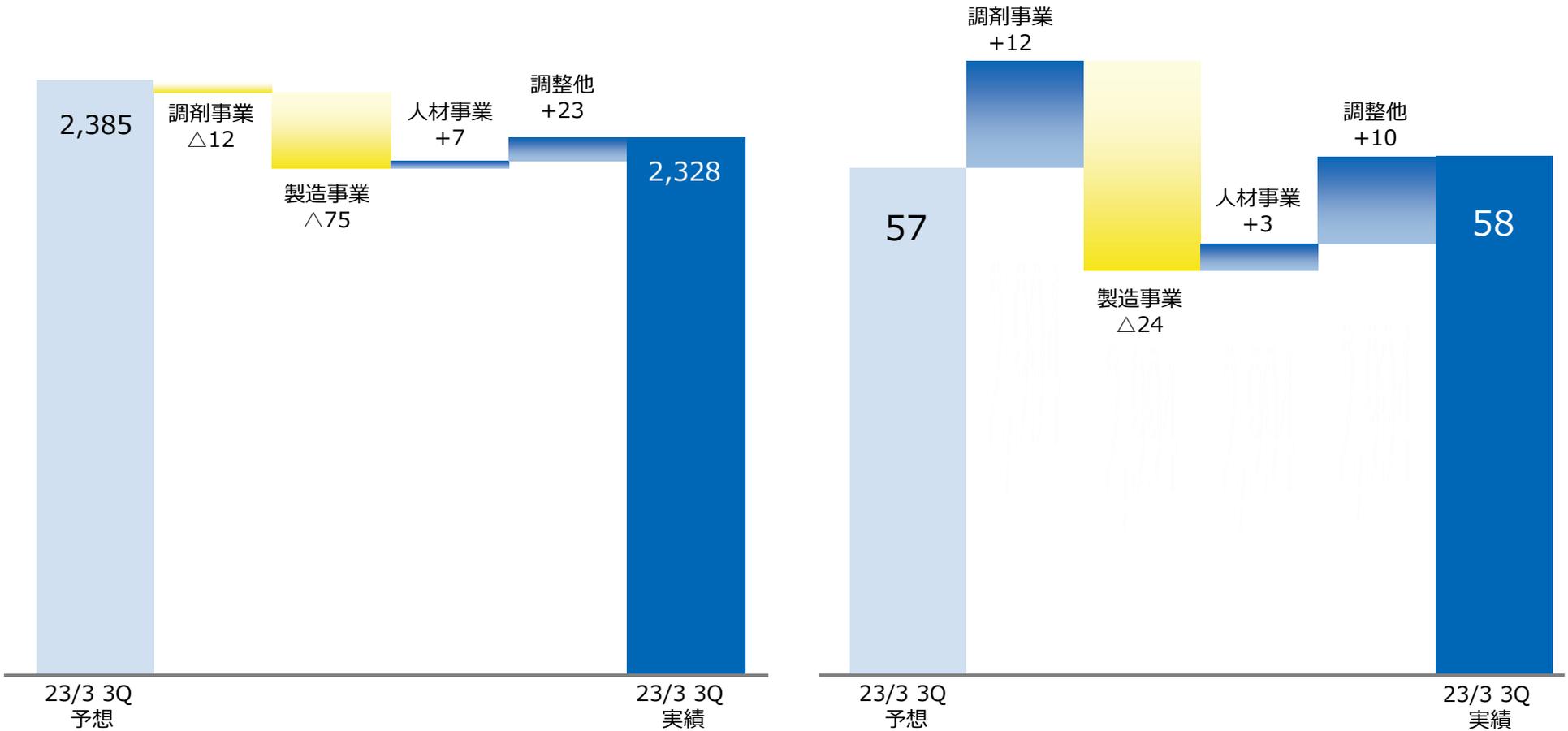
■ 営業利益 (単位：億円、単位未満四捨五入)



# 〔参考資料〕 連結 予想比増減要因

■ 売上高 (単位：億円、単位未満四捨五入)

■ 営業利益 (単位：億円、単位未満四捨五入)



# 2

## 成長戦略



調剤薬局  
事業

■ バランスを重視した出店戦略

“門前薬局”と“ハイブリッド型薬局”のバランスを重視した出店を継続

医薬品  
製造販売  
事業

■ 医薬品製造販売事業の拡大/安定供給への取り組み

品質管理と安定供給を最優先としつつ、新製品の着実な開発と販売品目の見直しにより自社製造比率が向上

医療従事者  
派遣・紹介  
事業

■ 医療従事者派遣・紹介事業の拡大

新型コロナワクチン接種関連業務の需要は一段落するも、 医師事業は堅調に推移



## バランスを重視した出店①

自力出店、M&Aともに大型店舗の出店と高度医療への対応を進めており、店舗あたり売上高は増加傾向。自力出店割合を維持しつつ、M&Aを活用したバランス良い出店を実施。

出店数	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3 3Q
出店	42	36	32	65*	29	40	31
自力出店 (割合)	21 (50.0%)	23 (63.9%)	26 (81.2%)	35 (53.8%)	22 (75.9%)	34 (85.0%)	23 (74.1%)
M&A	21	13	6	30	7	6	8
閉店	12	8	19	13	9	13	12
期末店舗数	557	585	598	650	670	697	716

※物販店舗から調剤薬局への業態変更1店舗を含む

## 23/3 3Q 調剤薬局事業実績

(前年同期比増減)	調剤売上高	処方箋枚数	処方箋単価
既存店	2.3%	1.0%	1.2%
前年出店	169.4%	190.3%	△7.2%
全店	5.0%	5.5%	△0.5%

処方箋枚数 12,146千枚 処方箋単価 16,768円

## 処方箋単価の推移

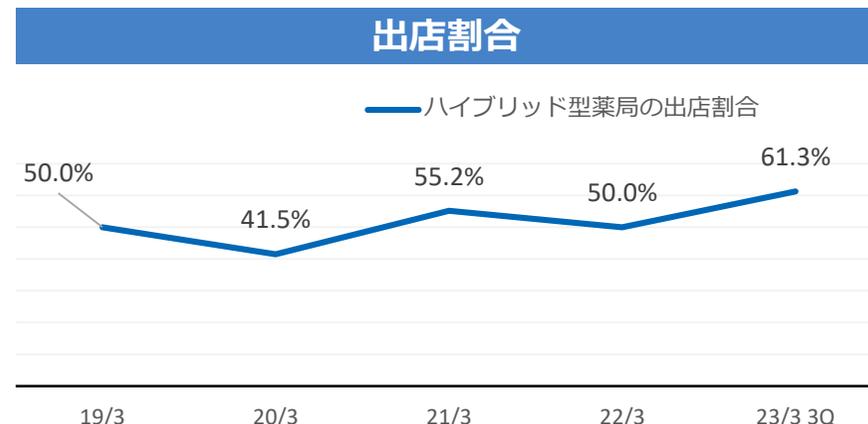


# バランスを重視した出店②

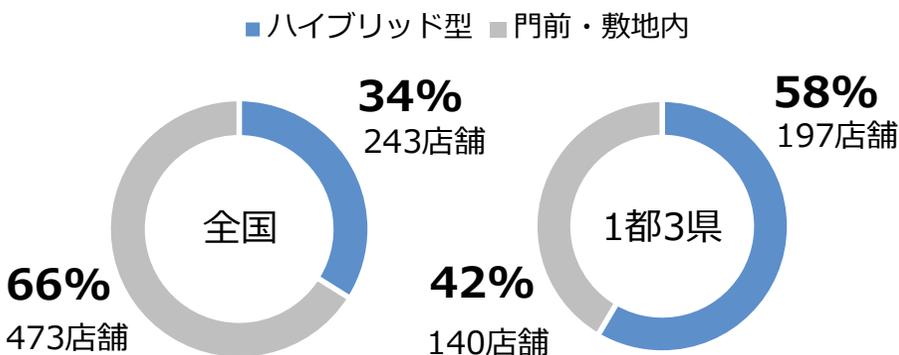
門前・敷地内薬局の堅実な出店に加え、地域医療を行う上で重要性が増しているハイブリッド型薬局の出店を強化し、バランスを重視した出店を継続。敷地内薬局は厳選のうえ出店継続。

出店数					
	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3 3Q
出店	32	65*	29	40	31
門前・敷地内	16	38	13	20	12
ハイブリッド型	16	27	16	20	19
閉店	19	13	9	13	12
期末店舗数	598	650	670	697	716

※ 物販店舗から調剤薬局への業態変更1店舗を含む



## 店舗割合



地域	出店数 23/3 3Q	期末店舗数 23/3 3Q	期末店舗数 割合
関東	21	372	52.0%
関西・北陸	5	84	11.7%
その他	5	260	36.3%
合計	31	716	100.0%

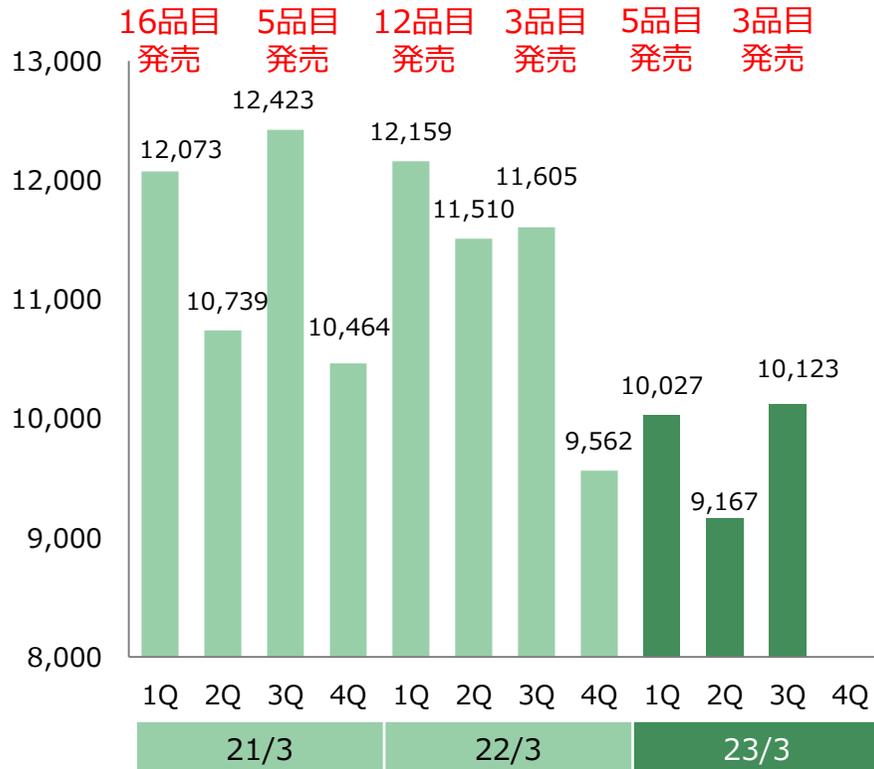
ハイブリッド型…面対応&医療モール  
駅前や商店街などに立地し、広域の処方箋を応需する面対応薬局と、医療機関を複数誘致する医療モールの要素を組み合わせた薬局

# 医薬品製造販売事業の拡大

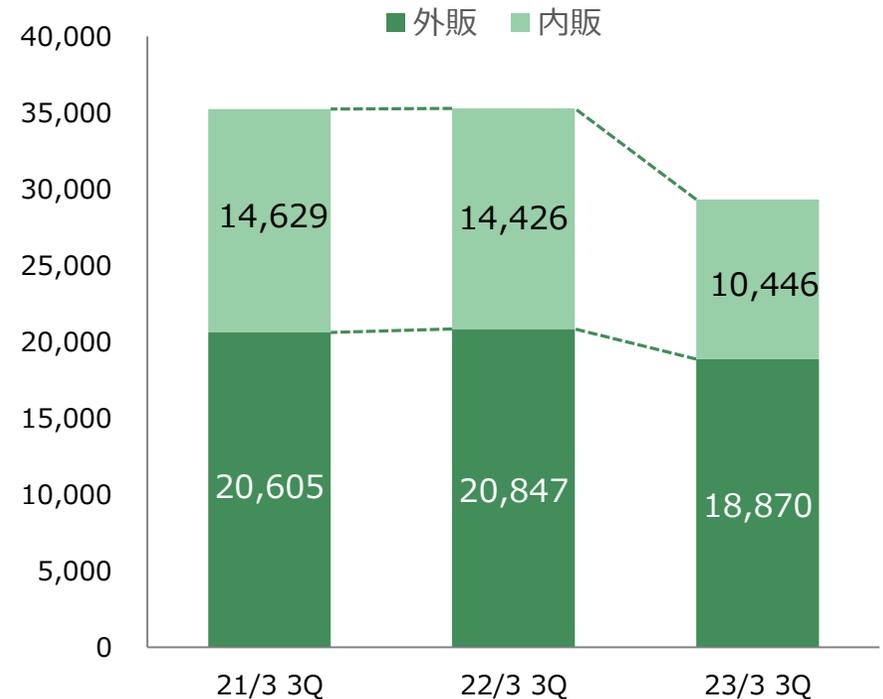
2022年6月および12月の新規薬価収載品の販売は好調。一部販売品目の限定出荷解除は行うものの、2021年の物流センターの火災に起因する限定出荷の影響が継続したこと等により売上高は減少。

## 売上高の推移とその内訳

■ 四半期別売上高推移 (単位：百万円)



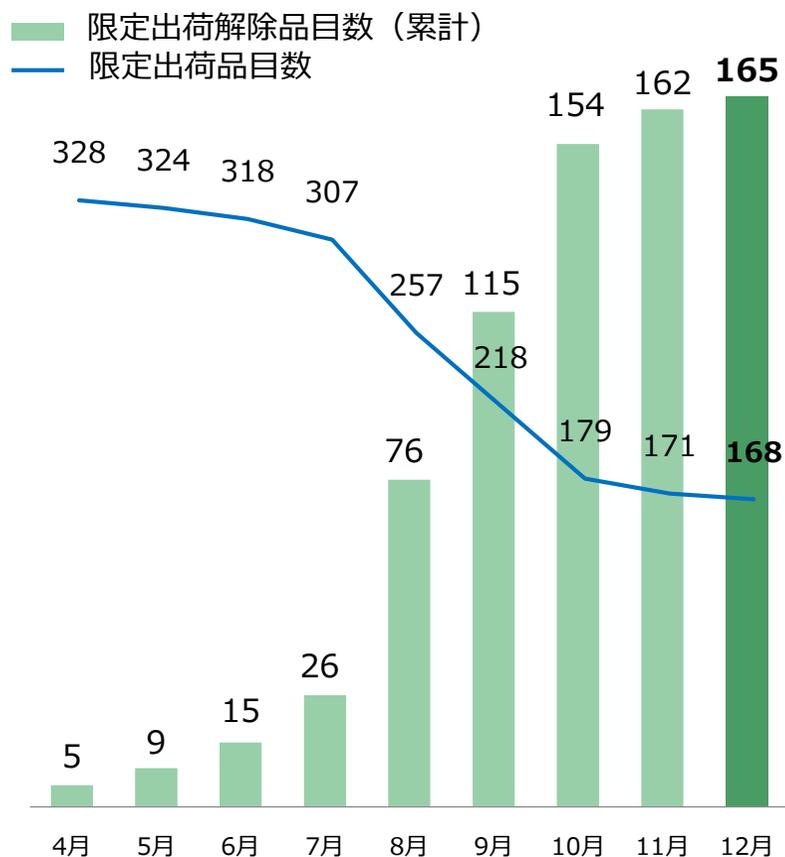
■ 内・外別売上高推移 (単位：百万円)



# 安定供給への取り組み

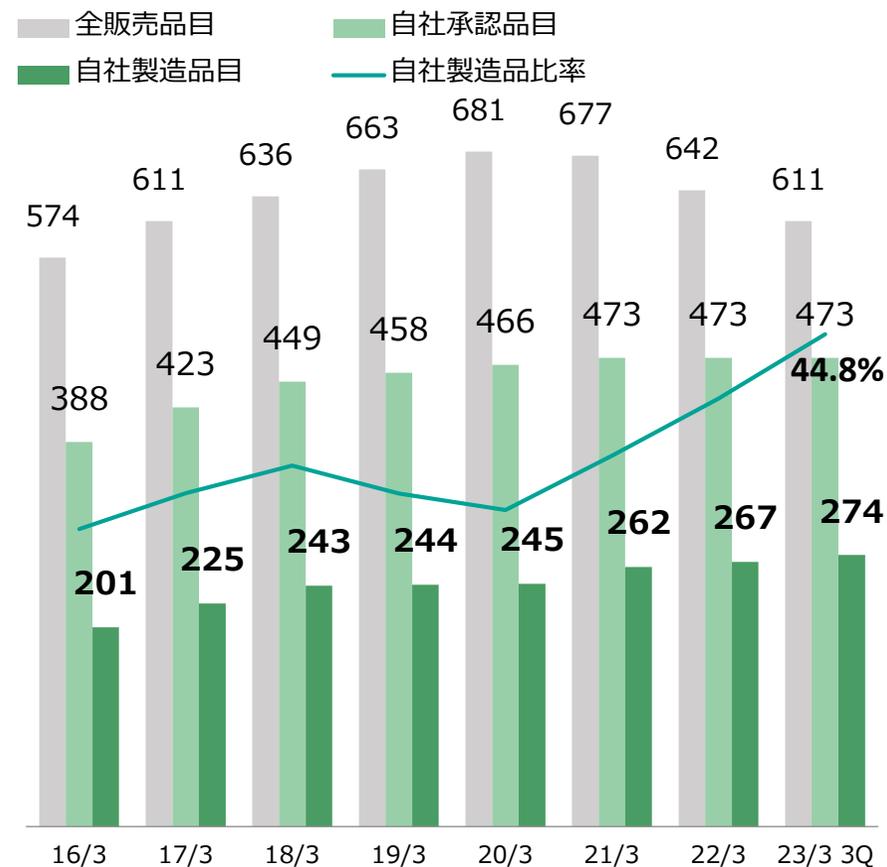
## 限定出荷解除品目数

2021年の西日本物流センターの火災の影響等による限定出荷品目については、安定供給体制が整った製品から順次通常出荷を再開。



## 販売品目数

導入品及び外部製造委託品目を中心に販売品目の見直しを通して全販売品目数は減少するものの、自社製造品比率は上昇。



# 長生堂製薬の業務改善計画の進捗状況について

業務改善計画通りに「信頼回復に向けての取り組み」、「製造販売業者における再発防止策」、「製造業者における再発防止策」における各取り組みが進捗。徳島県による検査結果等においても適切な改善状況が報告された。

## 【業務改善状況の進捗確認について】

長生堂製薬の改善計画の進捗状況については、定期的に徳島県薬事審議会にて報告を行い、改善状況について審議される。

2022年10月27日に開催された薬事審議会において、徳島県保健福祉部薬務課より以下の報告があり、審議会においても問題なく進行しているとの見解が示された。

（徳島県薬務課からの報告）

製造販売業者及び製造業業者としての3工場に立入検査等を行った結果、「現時点では改善計画に基づき、適切に改善が実施され、不適切な製造はない」旨報告を受領。

### 【参考資料】

・業務改善計画の達成状況のご報告

<https://www.choseido.com/improvement/pdf/221215gyoumukaizen.pdf>

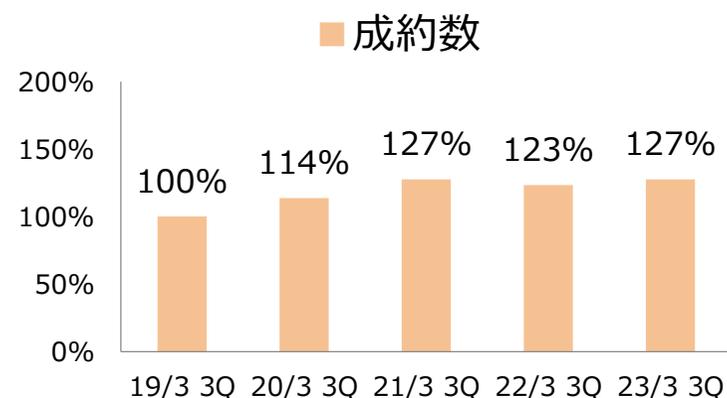
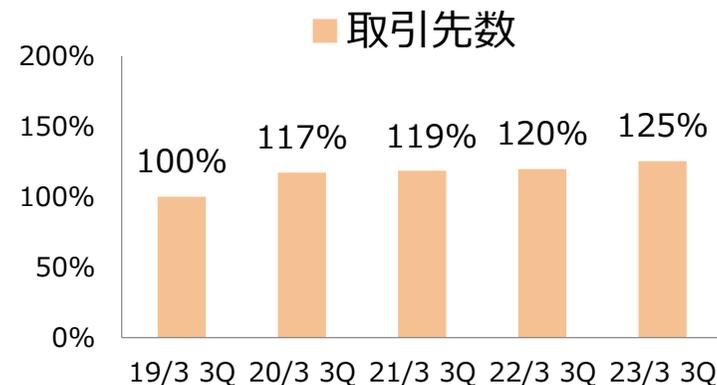
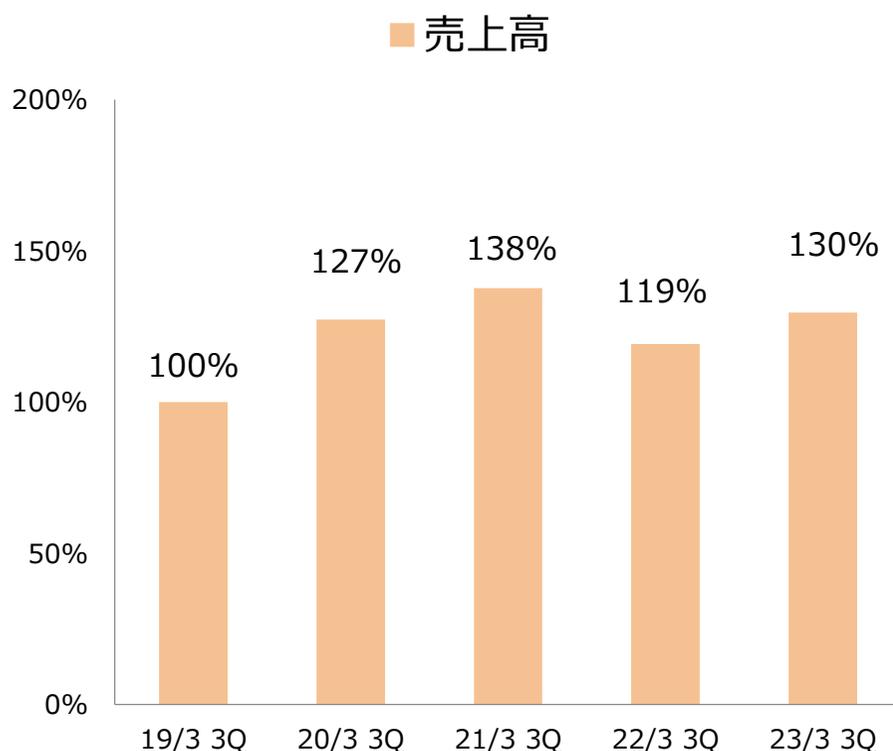
・徳島県薬事審議会に関する情報

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/kenseisogo/shingikai/chijibukyoku/5049080/>

# 医療従事者派遣・紹介事業の拡大①

薬剤師派遣事業の需給状況変化及び新型コロナウイルス感染症の影響が残るも、中小薬局を中心とする薬剤師の派遣市場は底堅く推移し、前年同期比プラスを確保する。また、紹介事業についても外部環境の好転もあり、前年同期比増収を確保した。

## 薬剤師紹介事業の拡大



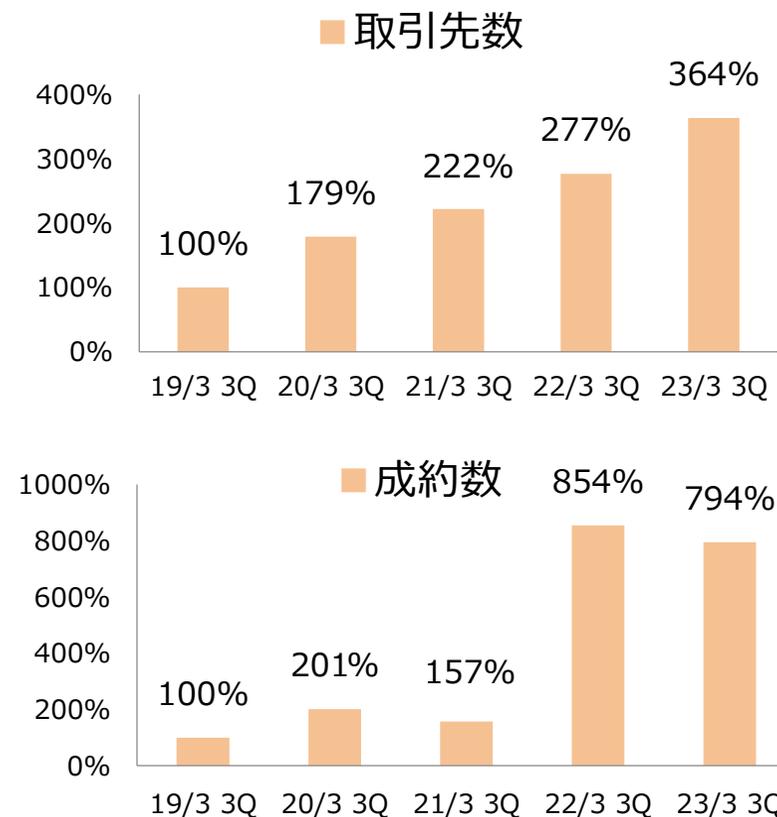
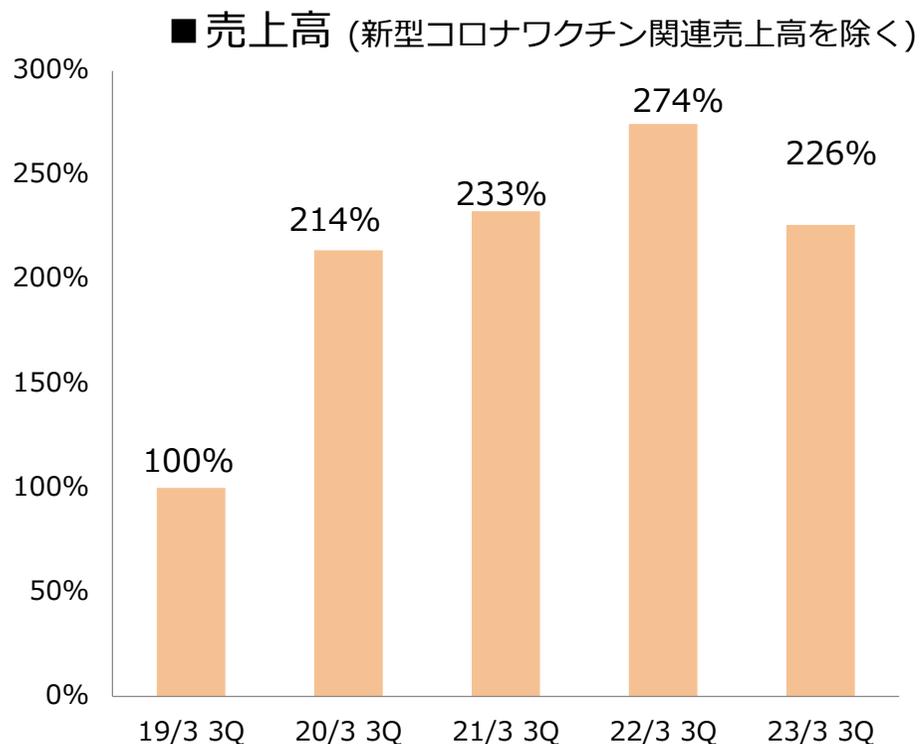
求人登録→マッチング→**成約**→売上

19/3期3Qの売上高・取引先数・成約数を100%とした売上高・取引先数・成約数の推移

## 医療従事者派遣・紹介事業の拡大②

医師紹介事業は、新型コロナワクチン関連業務を確保しつつ、常勤・非常勤医師需要を着実に捉えた結果、堅調に推移。

### 医師紹介事業の拡大



求人登録→マッチング→**成約**→売上

19/3期3Qの売上高・取引先数・成約数を100%とした売上高・取引先数・成約数の推移

# 注意事項

本資料に掲載されている日本調剤株式会社及び同社子会社の業績目標、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、事業等のリスクや不確実な要因によっては、大きく変化する可能性があります。またその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料は投資勧誘のために作成されたものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

## 【IRお問い合わせ先】



〒100-6737

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

グラントウキョウノースタワー37階

Tel : 03-6810-0818

E-Mail : [ir-info@nicho.co.jp](mailto:ir-info@nicho.co.jp)

IR専用ページ : <https://www.nicho.co.jp/corporate/ir/>

担当 : 経営企画部 IR担当